

までだったりしませんか？

**部長** 概要2 大容量データの受渡しにはオンラインストレージサービスを利用できる、とされている。

**E子** なるほど。もう大量のFAXを送ったりしなくてよいのですね。

**部長** 概要3 税務署との打ち合わせでWEB会議を利用できる。

**E子** あら、これもすごいですね！直接税務署の人と会うことなく、やり取りができる。

**部長** 概要4 アンケートもオンラインで提供する。

**E子** 税務署からのアンケートというと、あまりピンとこないのですが。

**部長** たとえば、不動産を購入した際には、その資金をどのように調達したのか、持分はどうか、売主は誰か、などのいわゆる「お尋ね」が郵送されてくることがある。このようなものなのかな？と想像しているが、その他の「どう思っているか」などアンケートも気

案に取れるようになるかもしれないね。

**E子** 先ほどセキュリティの話が出ましたが、大丈夫なのでしょうか？

**部長** GSSネットワークという、政府機関を接続するための閉じられたネットワークを利用するので、安全性は高いとされている。

**E子** オンラインでのやり取りはしたくない、という人や会社も出てきそうですが、そのあたりはどうですか？

**部長** オンラインでのやり取りにあたっては、納税者側の意思確認を経てやる、ということになっている。

**E子** 今後オンライン化が進むとどうなるかわかりませんが、いまのところは納税者の方でどうしたいか選べる、ということですね。

**部長** そのとおりだ。ちなみにオンラインツールの利用については、令和7年10月から金沢国税局・福岡国税局管内の税務署で利用開始されているが、その他については順次導入予定とされ

ている。

**E子** いままでの概要、特に1〜3を見ると、これだけで税務調査ができてしまう気がしますが。

**部長** まさにそのとおりで、税務調査等に際して必要に応じて、オンラインツールを利用する、としているぞ。

**E子** 税務署の人が来ないだけで、心理的な負担も相当減ると思います。

**部長** ただし、こちらからオンラインで調査をお願いしても、税務署が必要だと考えればいまままでどおりの対面調査をするということだ。

**E子** 証拠など隠されたりしたら、調査する側といたら困りますものね。

**部長** 具体的には、国税庁ではオンラインミーティングではMicrosoft Teams、大容量データのやり取りではPrimeDriveを指定している。触ったことがなければ、いまのうちから知っておいて損はないだろう。